

授 業 科目名	【 G カリキュラム】 商法(総則・商行為)Ⅰ ※本年度は開講せず		その他参照	開講年次	【G】3 【EF】3	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）						
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	一般市民法とは異なる商事法の基礎知識と全体像を学ぼう。			担当者	仲宗根 京子		
授業概要	【概要】 日々の生活を送るにあたって、物品の売買、賃貸借、委任などの取引は欠かすことができないものです。商人間の場合、商行為、すなわち営利を目的とし反復継続して取引が行われ、また、原則として対等な立場にある商人同士での取引であるという点で、商法は一般の市民同士の取引とは異なる規律を用意しています。従って、商法総則・商行為の学習においては、なぜ商法は必要なのか、商法の規定の特色は何か、商法はとりわけ民法とどのような関係に立つのかといった点を学びます。						
	【到達目標】 この授業では、商人・商行為についての基本用語および概念を理解し、適切に用いることができることを目指します。また諸制度・諸規定について、そのような制度・規定が設けられた趣旨を理解し、説明できることを目指します。						
履修条件	できれば、原則として、商法総則・商行為法Ⅱ、会社法Ⅰ、Ⅱを継続して履修することが望ましい。 私語、途中退室は慎んで下さい。教科書および最新版六法（種類は問わずコンパクトなものでよい）、配布済みのレジュメも毎回持参して下さい。						
教科書・ 参考書	【教科書】 福原紀彦著『企業法要1 企業法総論・総則』（文真堂、2015年） 【参考書】 江頭憲治郎ほか『商法総則・商行為法判例百選（第5版）』有斐閣						
授業回数	授業内容						
1	① イントロダクション：商法の意義・適用範囲						
	予習：教科書①p17～p44，（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
2	② 商法総則・商行為法の適用範囲：商行為と商人						
	予習：教科書①p45～p67，（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
3	③ 商業登記：商業登記の意義、登記すべき事項、商業登記の効力						
	予習：教科書①p68～p72，（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
4	④ 判例研究						
	予習：事前配布の資料を予習（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
5	⑤ 商号：商号の意義、商号権の保護、商号の譲渡						
	予習：教科書 p73～p86（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
6	⑥ 判例研究						
	予習：事前配布の資料を予習（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
7	⑦ 名板貸人の責任						
	予習：教科書, p82～p86（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
8	⑧ 商業帳簿・計算書類など						
	予習：教科書, p87～p95（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
9	⑨ 商業使用人・会社の使用人						
	予習：教科書, p96～p107（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
10	⑩ 判例研究						
	予習：事前配布の資料を予習（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
11	⑪ 代理商						
	予習：教科書, p108～p115（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
12	⑫ 商業登記						
	予習：教科書, p116～p127（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
13	⑬ 企業の移転・担保 (1) 営業譲渡（cf. 事業譲渡）						
	予習：教科書, p128～p135（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
14	⑭ 企業の移転・担保 (2) 企業の賃貸借・経営委任 (3) 営業の担保化						
	予習：教科書, p136～p140（所要時間目安：70分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
15	⑮ まとめと期末試験						
	予習：教科書の重要な部分の総復習（所要時間目安180分）			復習：関連知識の確認（所要時間目安：20分）			
評価方法	期末試験（70%）および受講意欲や質問に対する対応（30%）により評価します。						
評価基準	授業によく出席し、各テーマについての討論に積極的に参加し、各論点について十分理解し、かつレポートも全て提出した者には程度に応じて「S」又は「A」を与える。討論への参加や各論点についての理解度が不十分な者は、その程度に応じて「B」又は「C」とし、授業への出席が不芳で、各論点についての理解度が一定の基準に達していない者はその程度に応じて「D」又は「E」とする。評価不能な場合、「F」とする。						
その他	※G 刈：法【-】 疎° 【-】 情【-】／EF 刈：法【-】 疎° 【-】 経【選択必修（β）】						